令和５年４月１日

令和５年度豊渓中学校 学校経営計画

練馬区立豊渓中学校
校長　山　根　浩　孝

○ 学校経営の理念

学校は、生徒の人格形成に大きな影響をあたえる大切な場所である。教職員は教育公務員としての使命を自覚し、憲法、教育基本法及びその他関連法規を遵守し、生徒・保護者・地域の願いを真摯に受け止め教育目標達成のために日々努力する。

Ⅰ　教育目標

人権尊重の精神を培い、国際的な視野をもち社会の変化に主体的に対応することのできる資質を養う。また、生涯を通して学び続けることのできる心身ともに健全で人間性豊かな生徒の育成を目指す。この観点に立ち、次の目標を定める。

健康で心豊か、そしてよく学ぶ人

Ⅱ　目指す学校像

１　生徒がよさを発揮できる学校・・・楽しく学べる学校　経験できる学校、挑戦できる学校
２　安心して学び成長できる学校・・・安全・安心な学校　改善・研鑽に努める学校
３　保護者地域とともにある学校・・・保護者・地域と協働できる学校　貢献できる学校

学校は、生徒が大切にされるところである。安全で安心な生活の場であり、知る喜び、学ぶ喜び、できる喜びが実感できるところでなくてはならない。また、教職員にとっても生徒と関わることに喜びを実感できるところであり、保護者にとっても毎日、元気に通学する子どもの姿に喜びを感じ、安心して送り出せるところでなくてはならない。そのために、校長・副校長のリーダーシップの下、主幹教諭及び主任教諭を中心とした全教職員が組織の一員として、創造性と主体性を発揮しながら、一丸となって教育活動にあたる。

Ⅲ　目指す生徒像

１　進んで学ぶ生徒・・・毎日計画的に学習する 必要な知識や技能を身に付ける 他者と協働する
２　誠実な生徒・・・・マナーやルールを踏まえた言動　規範意識の醸成　思いやりのある行動
３　心身とも健康な生徒・・・生活習慣を確立する　運動、部活動で自分を鍛える

（１）進んで学ぶ生徒

知識や技能は日常生活や社会の中で正しく活用されてこそ意味がある。授業において基礎・基本を確実に定着させるとともに、課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力、主体的に学ぼうとする意欲を高める指導を工夫することにより、進んで学ぶ生徒を育成する。

（２）誠実な生徒

社会は一人一人が異なる個人で形成されておりマナーやルールを踏まえた言動によって集団の力が発揮できる。日々の授業や行事、部活動等の教育活動を通して生徒の規範意識を高め、誠実な生徒を育成する。

（３）心身ともに健康な生徒

心身の健康は生きる力の源であり、日常生活の基盤である。中学校の３年間は、心身ともに大きく成長できる大切な時である。様々な体験をすることや、難しいことにも挑戦して自分を鍛えることで、強い心と体は育まれる。運動や部活動への積極的な参加を促し、家庭と連携して望ましい生活習慣や食習慣の確立を図り、心身ともに健康な生徒を育成する。

Ⅳ　学校経営の基本方針

（１）小規模校の特色を生かし、生徒一人一人のことを考え、生徒に寄り添ったていねいな指導や支援を行い、夢や目標をもち、困難を乗り越える力を備えた生徒を育成する。
①生徒一人一人に応じたきめ細かい指導支援により、個々の状況把握に努め、成長の支援をする。
②不登校や配慮が必要な生徒と家庭に対して、関係機関と連携して適切な支援を行う。
③生徒の社会性や豊かな人間性の育成につながる体験活動や奉仕活動を推進する。
④全教職員が協力し、共通したきめ細かな指導に努める。

（２）すべての生徒に基礎・基本の定着をはかり主体的に学ぶ態度を育成する。
①生徒一人一人の関心を高め、意欲的に学びたくなる授業、個に応じた指導を工夫する。
②チャイム教卓・始業等、授業規律を徹底し、ねらいを明確にした授業を実践する。
③ICT 機器、タブレット等を活用し、生徒の主体的な活動を促す個別最適化した授業を実施する。
④少人数指導、TT 指導、学力向上支援講師用等、きめ細かな指導を通して基礎基本の定着を図る。

（３）コミュニティ・スクール実証校として家庭および地域社会に信頼される学校づくりを目指す。
①コミュニティ・スクール研究の成果を生かし、保護者・地域との互恵性ある連携協働を進める。
②ボランティア活動のネットワークづくりを行い、地域人材の教育活動への参加を拡大する。
③学力補充教室（Ｋ中ベーシック、Ｋ中ゼミ）を地域、保護者、大学生と連携協働して実施する。
④地域行事やボランティア活動に参加する機会を設けて、地域社会に貢献できる生徒を育成する

（４）教職員一人一人が個性を発揮しながら切磋琢磨して、一丸となって課題解決に望む組織力の高い集団づくりを推進する。
①生徒一人一人の学力を高めるための指導力向上に向けた授業研究、校内研究を充実させる。
②教職員の人権感覚を磨き、差別や偏見をなくし、生徒一人一人の人権に配慮した指導を行う。
③ICT 教育を推進するために、タブレット等を活用した指導を充実させる。
④コミュニティ・スクール実証校として、地域と連携・協働した教育活動を推進する。

Ⅴ　目指す学校像・生徒像を達成するための中期的な経営目標

（１）確かな学力の定着と向上を目指す。【学力の定着・向上】
①少人数のよさを生かし、生徒の可能性を引き出す個別最適な学びや協働的な学びを実践する。
②基礎、基本的な内容を定着させるため、生徒が主体的・協働的に学ぶ授業を展開する。
③生徒自身が目的をもって、自学自習する習慣を身に付けるように学習支援を行う。
④ICT 機器、タブレット等を活用し、生徒の主体的な活動を促す授業を実施する。

（２）豊かな心の醸成を図る。【人権尊重　健全育成】
①道徳授業推進教師を中心に「特別の教科　道徳」の年間指導計画に基づいて計画的に授業を行う。そして、考え議論しながら、相手の立場や心情を尊重する力、思いやりの心を育てるとともに、生徒が道徳的価値について理解し、実践する態度を育てる。
②学校行事、特別活動、部活動等、時と場所に応じてどのような行動が適切かを考え実行させることを通して、自己指導の力をはぐくむ。
③学校行事やボランティア活動等の体験を通して思いやりの心、役割意識、責任感をもたせる。いじめ防止に関する指導、取組を計画的に扱い、生命尊重や国際理解等の精神を養う。
④道徳授業地区公開講座では、全学級が道徳の授業を公開し意見交換を通して、家庭・学校・地域が一体となった道徳教育を推進する。

（３）健康と体力の増進を図る。【体力向上】
①保健、給食年間計画に基づいて、保健だより、給食だよりの活用等や学校保健委員会、給食試食会、食物アレルギーへの対応についての研修を行う。
②年間を通してオリンピック・パラリンピック教育を計画する。部活動についても地域連携（日本ウエルネス大学東京）を推進する。
③安全指導、防災教育を通して、自ら危険を回避する能力の育成を図る。防災訓練については区内消防署、消防団、避難拠点運営連絡協議会等と連携した取組を推進して地域に貢献できる生徒を育成する。
④生徒の実態を踏まえ、計画的に地域専門機関と連携して喫煙指導、薬物乱用防止教育、情報モラル教育等を実施する。

（４）教職員の資質の向上、組織力の向上を図る。【教職員・組織力の向上】
①教職員全員に対して定期的に人権教育プログラム等資料を活用した研修を行い、教職員の意識の向上を図る。学校生活全体の言語環境を整え、望ましい人間関係の基盤を培うようにする。
②授業力向上のための校内研修会、講師を招聘した講習会等を計画して学校全体の授業力の向上に努める。
③ＩCT、タブレット活用のための研修会を実施し、学校全体での利用率の向上を図る。
④服務事故防止研修会の実施、管理職による面接、点検を行い、体罰、性暴力のない職場づくりを行う。

（５）保護者・地域とともにある学校【保護者・地域との連携・協働】
①2 年間の CS 研究の成果を生かして、地域、保護者と連携・協働した教育活動を推進する。
②保護者ボランティア、地域ボランティアのネットワークづくりを進め、教育活動への参加取組の充実を図る。
③Ｋ中ベーシック、Ｋ中ゼミを地域、保護者ボランティアと連携した取組にする。
④地域行事、地域ボランティアへの参加、ＣＳとしての連携・協働について組織的な運営ができるようにする。

Ⅵ　令和５年度の達成目標と具体的な手立て

（１）確かな学力の定着と向上を目指す。【学力の定着・向上】
①数学、英語等の少人数指導、保体の TT 指導等を取り入れ、できる限り生徒のよさを引き出す。
②基礎、基本的な内容を定着させるため、授業の指導内容、方法等工夫する。
③生徒自身が目的をもって、自学自習する習慣を身に付けるよう、地域、保護者と連携して、K 中ベーシック、K 中ゼミを利用できる環境を整備する。
④ICT､タブレット等に関する研修会を計画･実行して､より多くの授業で活用できるようにする。

（２）豊かな心の醸成【人権尊重　健全育成】
①「特別の教科　道徳」の時間を中心に、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の時間を通して系統的に道徳性を育む。
②学校行事、特別活動等、時や場に応じてどのような行動が適切かを考えさせる場を設定して自己指導力の伸長を図る。
③生徒会活動や学校行事等を通して、他と協力して取り組む喜びを味わわせること、責任感や最後までやりぬく経験をすることで自治能力をはぐくむ機会を設ける。
④学年・学級活動、授業、部活動等の活動を通して、規範意識を高める。また、利他の精神をもって相互に意見交流ができる　集団づくりをしようとする心や態度を育てる。

（３）健全な体を育む【健康・体力の向上】
①保健、給食年間計画等を作成し、学校保健委員会や栄養士を活用した食に関する指導を行うとともに食物アレルギーへの対応、対策を徹底する。
②オリンピックパラリンピック教育を推進し、アスリート等を招聘した講演会を実施するとともに学校全体で体力向上に関わる取組を推進する。
③安全管理と事故防止を徹底し、自然災害や事故防止時の対応訓練を年間計画に基づいて実施するとともに、小学校、保護者、地域・関係機関との連携に基づく防災訓練を実施する。
④発達段階に応じて喫煙についての指導、薬物乱用防止教育等を適切に実施する。

（４）教職員の資質の向上【能力開発・組織力の向上】
①教職員の人権感覚を磨き、差別や偏見をなくし、生徒一人一人の人権に配慮した指導を行う。
②授業力、指導力、子どもの良さを引き出す力など、教員の資質・能力の向上を目指す。
③ICT 教育を推進するために、タブレット等を活用した指導を充実させる。
④服務事故防止研修を計画的に行い、自分たちの周りから体罰などの服務事故を根絶する。

（５）保護者・地域とともにある学校【連携・協働】
①コミュニティ・スクール実証校として、保護者・地域との互恵性ある連携・協働を進める。
②保護者や地域の人的・物的教育資源を有効活用して、教育活動の充実を図る。
③学校行事等の内容を工夫して、多くの地域・保護者が参加・協働できるようにする。
④地域行事やボランティア活動に積極的に参加することを通して地域に貢献できる生徒を育てる。

Ⅶ　いじめ・体罰への組織的な対応

（１）いじめに対する対応
①学校いじめ対策推進委員を中心として、いじめの未然防止、早期発見・対応・解決を目指した取組を「豊渓中学校いじめ防止基本方針」として定め、全教職員が保護者や地域、学校関係者と一体となって、いじめの根絶に努める。
②ふれあい月間の期間中に、いじめ防止に関する取組を実施する。全生徒を区いじめ一掃プロジェクトに参加させ、いじめを許さない雰囲気を醸成する。
③「いじめに関するアンケート」を年３回実施し、いじめの実態を把握する。生活指導部を中心にアンケート結果をまとめ、具体的な対応策を検討する。
④いじめ防止基本方針に基づき、問題が発生した場合は、迅速に対処する。学校いじめ対策委員・生活指導部を中心に関係生徒・保護者への指導を行う。さらに、ＳＣ・心のふれあい相談員と協力しながら、連携した指導を行う。

（２）　体罰に対する対応
①体罰への意識を高める研修を計画的に行う。 服務研修には必ず「体罰」を取り上げ、生徒指導の在り方を考える機会にする。体罰の根絶に向けた研修を職員会議で実施する。
②体罰調査を教職員・生徒に実施すること、校長面接を実施することで体罰の実態を把握する。
③体罰が発生した場合は、被害生徒の安全確保に努めすぐに管理職へ報告を行う。区教育委員会への報告を行い、適切に対処する。

Ⅷ　その他

１　学校事務に関わる重点項目と主な取組

（１）予算の適正な執行計画、管理、契約等に関する事項

円滑な学校運営を実現するための予算策定と効率的な適正執行と私費負担の軽減に努める。

① 配付予算の全容と予算編成の主旨を全教職員に周知する。
② 教職員の意向を踏まえた予算編成を適正に行う。
③ 諸帳簿の整理、契約業者の選定、 物品の納入及び検査を適正に行う。
④ 現金や郵券、通帳、印鑑などの管理を適正に行う。
⑤ 学校徴収金管理システムを活用して適切に管理し、会計事故の未然防止に努める。
⑤ 準公金の取扱、管理は適正に行い、会計処理は速やかに行うとともに管理職が点検を行う。

（２）物品・施設管理に関する事項

物品や施設等の適正な管理と有効利用を推進する。

① 物品台帳の整理を促進する。
② 備品や施設破損などの修理を迅速に行い、安全管理に努める。
③ 不要物品、廃棄物品の処理を適正に行う。
④ 危険物の安全管理を適正に行う。
⑤ 物品、施設管理に関する連絡調整を迅速に行う。

（３）給与・現金等の扱い・福利厚生に関する事項

給与、諸届、旅費、認定等に関する事務、手続きの適正化に努める。

① 給付金などの現金の収受に関する事項を適正に行うとともにチェック体制を確立する。
② 諸届、認定・抹消手続きを適時適切に行う。
③ 教職員に必要な情報を提供する。

（４）庶務、渉外、その他に関する事項

連絡調整を密に行い、迅速かつ的確な処理に努める。

① 学校行事等に関わる予算執行を適時適切に行う。
② 就学援助に関わる事務処理を適時適切に行う。
③ 関係職員や各分掌との連絡調整を適時適切に行う。
④ 保護者や外来者への接遇、電話応対を的確に行う。
⑤ 将来を見通した業務の改善に積極的に取り組む。
⑥ 校長への報告・連絡・相談・記録を確実に行う。

２　学校栄養職員に関わる重点項目と主な取組

（１）栄養管理に関する事項

栄養バランスを十分に考慮し、安全でおいしく変化のある献立となるようにする。

① 常に給食に関する評価を把握し、献立内容を工夫・改善する。
② 残菜の状況の分析を的確に行う。
③ 他校との情報交換を積極的に行う。

（２）衛生管理に関する事項

安全な給食の提供と衛生的な環境整備に努める。

① 練馬区と連携して情報を共有し、新鮮で安全な食材の確保に努める。
② 食材に適正な管理、食品衛生の向上、衛生管理の徹底を図る。
③ 食品庫などの衛生管理を適切に行う。
④ 食材納入業者や委託業者との連絡調整を密に行い、必要に応じて適宜指導を行う。
⑤ 日常の点検、検査の徹底を図る。
⑥ 異物等の混入を発見した場合、すぐに異物を保管し、管理職・栄養士に状況を報告する。
⑦ 保存食の適切な管理に努める。
⑧ 練馬区の学校給食における食物アレルギー対応に基づいて提供する。

（３）食育に関する事項

食に関する興味や関心を高める指導資料の提供と指導助言に努める。

① 食育に関する基本計画を作成し、その推進を図る。

② 望ましい食習慣に関する指導資料の提供とその指導に努める。

③ 献立表や給食だよりの発行を通して、保護者に食に関する啓発を行う。

④ 給食試食会等の実施を通して、家庭や地域との連携を図り、学校給食への理解を深める。

（４）給食会計の管理、その他に関する事項

給食費の適正な管理、計画的で効率的な執行に努める。

① 年間計画に基づく柔軟で適正な予算執行に努める。

② 納品書や請求書等の処理、決算報告を適正に行う。

③ 委託業者との良好な関係づくりに努める。

《補足事項》

（１）プロ意識をもって授業の工夫・改善に努める。

（２）学習の評価・評定の根拠となる資料を整理し、生徒や保護者の質問に備える。

（３）生活指導は一人で抱え込まずに複数で対応する。その際、指導の内容と経過を記録し、管理職に報告する。

（４）机上や身の周りの整理に心がけ、重要文書や個人情報等は鍵のかかる場所に保管し、紛失を防ぐ。

（５）敷地内は全面禁煙とし、全教員とも勤務時間中の喫煙は禁止とする。

（６）保護者や来校者には自らあいさつして、身なり、応対、言葉づかいには細心の注意を払う。

（７）個人情報の管理を徹底するため、個人持ちのＵＳＢメモリーのデータ保存や個人情報を含む資料（答案等）やデータの持ち出しを全面禁止とする。

（８）教員が生徒や保護者とメール交換することを禁止する。

（９）服務事故防止に向けた研修を職員会議等で計画的に実施する。

（10）現状維持は退歩、常に課題を明確にし、その改善に努める。

【令和５年度の重点目標と具体的な方策】①とても思う。②思う。の合計の数値＝目標値

	今年度の取組　目標	具体的な方策	評価方法　目標値
1	（学力の向上） タブレット、ICT 機器を活用した指導、個に応じた指導を通して、学ぶ意欲をもたせる。	わかりやすい授業、楽しい授業づくりに取り組む。 〇タブレット、ICT 機器の活用。 〇意欲を高める授業の実施 〇主体的な活動を促す授業 個に応じた指導 基礎学力の定着を図る。 〇補充教室の実施 〇家庭学習の指導・充実 〇学力調査の分析考察指導 〇学校図書館の整備・充実	・教育課程評価 ・生徒・保護者アンケート 1「興味関心をもてるよう工夫改善して授業している」 実現度(生徒)84%⇒87% 目標値 3%向上　____% 2「つまずきを受け止め個に応じた指導を実践している。」 実現度(生徒)83%⇒86% 目標値 3%向上　____% 週案への記載　授業時数 学習成果　生徒の変容
2	（健康　生活指導） 全教職員の共通理解、共通実践を図り、心身ともに健康な生徒の育成を図る。	生徒の心を大切にした温かみのある生活指導。 〇基本的な生活指導 心身の調和的な発達を図る健康教育を推進する。 〇健康指導　委員会指導 健康の保持増進と体力の向上を図る食育を推進する。 〇食育の指導 生徒の健康の保持増進と体力の向上を図る。 〇体力向上の取組 〇オリンピック・パラリンピック学習の取組	・教育課程評価 ・生徒・保護者・いじめアンケート 9「一致した指導が行われている」実現度(生徒)54%⇒64% 目標値 10%向上_____% 5「基本的な生活習慣を身に付ける指導を行っている」 実現度(生徒)69%⇒74% 目標値 5%向上_____% ・新体力テストの結果 ・健康指導の取組 ・給食指導の取組残食調査 ・生徒・保護者アンケート 10「健康や食育に関する指導が適切に行われている」 実現度(生徒)74%⇒77% 目標値 3%向上　____%
3	（豊かな心の育成） 道徳教育、国際理解教育等、様々な体験を通して豊かな情操を育む。	道徳の時間を要とし全教育活動を通して心を耕す指導を行う。 〇道徳の授業の取組 生徒の心を大切にした温かみのある生活指導を推進する。 〇いじめ防止・解決の取組 〇支援が必要な生徒の個別指導計画学校生活支援シート作成 〇３年間を見据えた計画的・系統的な進路指導とキャリア教育を推進する。 いじめ・不登校・支援を要する生徒には、組織的かつ的確な対応を行う。	・教育課程評価・生徒・保護者アンケート・いじめ、体罰調査。・不登校生徒の状況 6「いじめ、暴力等がなく、安心して生徒が通える学校である」実現度(生徒)80%⇒83% 目標値 3%向上　_____% 11「目的意識をもって取り組める学習内容が用意されている」実現度(生徒)85%⇒88% 目標値 3%向上　____% 12「卒業後まで見通した生き方学習が実践されている」 実現度(生徒)72%⇒75% 目標値 3%向上　____% ・英検 3 級取得率（3 年）

4	(特別活動) 生徒会、学校行事等の活動を通して、生徒のよさを引き出す。	学校行事等の内容を工夫、充実させる。 ○学校行事の取組 部活動の活性化に努める。 ○部活動の取組 生徒会活動を充実させ自主性・自律性を身に付けた生徒の育成。 ○生徒会活動への取組 ボランティア活動への参加。 ○生徒会等地域行事への参加。	・教育課程評価 ・生徒・保護者アンケート 13「生徒会活動や委員会活動が活発に行われている」 実現度(生徒)82%⇒85% 目標値3%向上 ____% 14「活発に部活動指導が行われている」 実現度(生徒)64%⇒69% 目標値5%向上 _____% ・ボランティア活動参加
5	(危機管理・環境整備) 生徒が安心できる学校環境をつくる。	・危機管理体制を見直し、安全で安心な校内体制を整備する。 ○安全に関する指導 避難訓練、安全指導 ・校舎内外の清掃活動と点検活動を推進し、きれいで安全な学習環境をつくる。 ○環境整備　○清掃活動 ○大掃除、クリーン運動	・教育課程評価 ・生徒・保護者アンケート 安全指導、避難訓練の指導 7「安全指導を計画的に実施し、防災教育等に努めている」 実現度(生徒)90%⇒93%目標値3%向上 _____% 8「きれいで危険のない生活環境になっている」実現度(生徒)86%⇒89% ____%
6	(開かれた学校) コミュニティスクール研究校として、保護者や地域との連携を深めた教育活動を推進する。	・町会、育成委員会、同窓会との連携を一層推進する。 ○ＰＴＡや同窓会との連携 ○地域連携未来塾の取組 保護者や地域への広報活動を積極的に行う。 ○HPの更新、学校、学年、学級だより等情報発信、広報 ○地域行事への職員生徒の参加	・地域・保護者からの意見 ・生徒・保護者アンケート 18「地域ボランティア活動への参加を促し奉仕的な精神を育んでいる」実現度 69%⇒74%目標値5%向上____% 19「各種たより、HP、学校公開等、生徒の活動の様子がよくわかる」 実現度81%⇒84% 目標値3%向上 _____% 20「豊渓中の職員は、地域に積極的に出向き、地域と関わっている。73%⇒76% 目標値3%向上 _____%
7	(特色ある教育活動) 豊渓中学校に入学して良かった。入学させて良かった。と思える教育活動、指導を行う。	豊渓中学校の特色ある教育活動 ○放課後の自学自習教室 K中ゼミ、K中ベーシック (地域未来塾) ○多くの教科での少人数指導 ○タブレット利活用推進	・地域・保護者からの意見 ・生徒・保護者アンケート 21「入学させて良かった。」・各行事、学校公開等アンケート 実現度86%⇒89% 目標値3%向上 _____%